



## 《知識》と《知恵》と《体験》

### ～〔学び〕の秋に寄せて～

校長 松尾 了

最近、ぐっと冷え込みが増しました。急に冬を感じさせるような気候になり体調管理に気を使われている方も多くいらっしゃるかと存じます。

さて、本校の10月～12月は毎年忙しい時期となります。《体験》を伴った活動の多くが、この2学期に計画されています。本校は、まさに「〔学び〕の秋」真っ盛りです。

全校で行う活動としては10月25日に実施した音楽発表会が大きな活動と言えますが、各学年や関係生徒の活動を含めると、約2週に1回の頻度でさまざまな活動が行われています。国際理解授業、区連合文化祭、2年生校外学習、いのちの教育、書道教室、区駅伝大会等があります。さらに、ボランティア活動や地域の活動である、社会福祉募金のお手伝い、荻窪音楽祭、レスキュー隊の活動、子ども祭り等々に参加している生徒もいます。これらの活動とともに日常の教育活動である、定期考査や委員会活動、部活動等々…。改めて俯瞰すると、生徒たちは本当に多くの活動に取り組んでいます。私が現役中学生の頃と、現在の中学生を比較すると、学校や地域が、生徒の活動の機会を意図的に、計画的に準備しており、年々その数は増えているように感じます。今の中学生は「とても忙しい」と感じる保護者の方もいらっしゃるのではないかと拝察しています。

昔と比較して、なぜ、これらの活動機会を意図的に計画し、さらに増える傾向にあるのか。私見ではありますが、私なりに（経験則と感覚的に）考察してみました。

昭和時代の小中学生は、放課後や日曜日（当時の土曜日午前中は授業がありました。）に、地域の公園やちょっとした広場で、さまざまな年齢の子や立場の異なる子が混ざり合っただけで遊ぶ（体験）という活動を通じ、人間関係作りや社会性を身に付ける機会があったのではないのでしょうか。そして、これらの《遊び（体験）》の中で、困ったことや不思議に思ったことを解決する際に、学習した《知識》を活用することで解決を目指し、《知恵》を磨く機会が、意図せずに積み重なり、〔学び〕となっていたのではないかと考えています。

ですが、時代とともに、複合的な要因で徐々に中学生の放課後の時間が減少した結果、それまで放課後で得られていた〔学び〕の時間も減少してきたのではないかと考えています。

学校のニーズも変化したのではないかと、私なりに考えています。

言い換えると、昭和時代には放課後に自然と《体験》できていたような活動を、公立学校で意図的に《体験》できるようにしながら、「生きる力」すなわち学力の定着を目指すようになってきたと考えています。（なお、小学校1・2年生の「理科」と「社会」が無くなり、「生活科」の導入が示されたのは平成元年度、「総合的な学習の時間」の導入が示されたのは平成10年度の学習指導要領の改訂のときです。）

日常の教育活動だけではなく、さまざまなく《体験》を伴った活動を通じて経験する「困ったこと」や「大変なこと」をどのように乗り越えるか、場合によっては上手にかわしたり、回避したりするか。さらには、「あれ？どうなっているのかな？」と疑問を抱いたことを解決する…これらのことは大人になっても続いていくことです。卒業後は「ある意味において社会人」となる中学生にとって、《知識》を生きるための《知恵》とするには、《体験》は、大切な〔学び〕の機会です。本校も可能な範囲で《体験》の機会を継続してつくってまいります。多くの視点で天中生を見守っていただけますよう、地域や保護者の皆様におかれましては生徒の《体験》の場を可能な範囲でいただけますよう、ご協力くださいますと幸いです。

さて、今年の音楽発表会は多くの困難がありました。発表会を迎えるまでに、1人1人の生徒が、それぞれの悩み、困難があったことと思います。



そのような中でも、杉並公会堂で素敵な歌と演奏をしてくださいました。さらに、これまででもっとも温かい雰囲気での発表会をつくっていただきました。天中生の温かさと素晴らしさを感じた音楽発表会でした。

なお、杉並公会堂で実施した音楽発表会で欠席生徒が多かった2年B組と3年生全クラスの合唱を、11月25日（土）に再度実施します。2年B組は2時間目に音楽室で、3年生は3時間目に体育館で実施します。参観は当該学年の保護者の方のみの参観とはなりますが、ご来校いただけますと幸いです。

# 音楽発表会

10/25



今年の音楽発表会はインフルエンザの大流行により、本番当日に欠席者多数という異例の幕開けとなりました。杉並公会堂の大ホールで歌うことを目標にクラス一丸となって練習を重ねてきた生徒たちには残念な結果ともいえますが、ステージに立った生徒たちの歌声は欠席したみんなの分まで練習の成果を発揮して、発表会を成功させようという気持ちに満ちていました。2、3年生では先生が指揮を振ったり、一緒に合唱に参加したりとまさに学校全体で取り組んだ音楽発表会となりました。

開会式 全校合唱 『夢の世界を』

第1学年合唱 『Tomorrow』

(1) A組 自由曲 『旅立ちの時』

(2) C組 自由曲 『明日へ』

(3) B組 自由曲 『COSMOS』

第2学年合唱 『時の旅人』

(1) B組 自由曲 『君と見た海』

(2) A組 自由曲 『心の瞳』

第3学年合唱 『大地讃頌』

(1) B組 自由曲 『春に』

(2) C組 自由曲 『信じる』

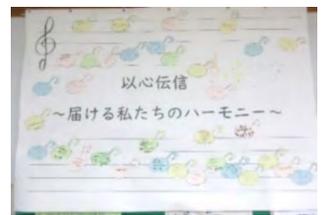
(3) A組 自由曲 『そのひとがうたうとき』

吹奏楽部発表

閉会式 『校歌斉唱』



1学期から、指揮者や伴奏者は、個人でたくさんの時間をつかって練習を重ねてきました。当日の舞台に立てなかった人たちにも、感謝の気持ちでいっぱいです。実行委員の皆さんにも感謝の拍手が沸き起こりました。



## <音楽科 より>

校舎を回るとどこのクラスからも歌声が聞こえてきて、ワクワクします。今年は、先輩たちの歌声を聴きに学年を越えて練習を見学し、歌を歌い先輩がアドバイスを送る練習風景が見られました。「その曲盛り上がるところが重要になってくるよ」と経験から伝えられる言葉で後輩たちにアドバイスを送る姿を見て、さすが3年生だなと感心していました。当日の発表は美しいハーモニーで公会堂がうめつくされていました。人数が揃わずに、舞台に立つ気持ちにならなかった人もいます。どのような状況でも舞台に立つこと、杉並公会堂という地域の素晴らしいホールで音楽を奏で鑑賞する経験を重ねたことは中学生の頃のいい思い出になればと思います。これからそれぞれ人生の舞台上で輝けるように音楽発表会の舞台での経験を糧にしていってください♪

## 9月 土曜授業 ICT 公開・レスキュー隊防災学習

1 学年 職業調べ発表 2 学年 職場体験発表 3 学年 修学旅行発表 レスキュー隊 防災学習



9月30日に行われた土曜授業ではICT授業の公開が行われました。1年生は教室で職業調べの発表に取り組み、2,3年生の体育館での発表では、それぞれ上級生の学習成果を下級生が見ることで新たな学習に見通しを持つことができました。また、放課後にはレスキュー隊による防災学習が行われました。年に3回行われる防災学習の2回目にあたる今回の学習会ではバッククッキングの実習を行いました。ビニールとお湯を使って災害時に何ができるか、隊員たちの学びが深まりました。

## 10月 土曜授業 国際理解の日



10月14日の土曜授業では全学年で本校の伝統である「国際理解」の体験学習を実施しました。多様な価値観を尊重し、より良い社会の創り手として参画していこうとする態度を育てるため、株式会社インタラックから12名の外国人講師を招き、様々なアクティビティーを行いました。生徒たちは日頃の授業で培った英語のリスニング、スピーキング能力を使って一生懸命に交流を楽しんでいました。

## スポーツの秋 芸術の秋 食欲の秋

スポーツ 保健体育 柔道 駅伝部 放課後練習 芸術 国語 書道教室 理科 プラネタリウム

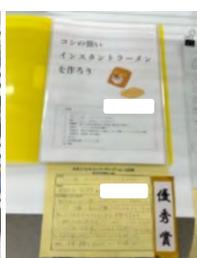


食欲 家庭科 調理実習



10月・11月には様々な体験型の学習が天沼中では行われます。秋というには暑い日々が続きましたが、この時期にしかできない様々な体験に生徒たちは一生懸命に取り組んでいます。また、区中学校対抗駅伝大会に向けて今年度の駅伝部は27名の選手が集まり、放課後一生懸命練習に取り組んでいます。本番は12月10日(日) 済美山運動場です。皆さん、ぜひ応援に来てください。

## 連合文化祭・サイエンスグランプリ



10月28日～30日の3日間、セッション杉並で連合文化祭、サイエンスグランプリが行われました。天沼中学校からは美術、技術家庭科の作品や理科の自由研究など98点の生徒の作品が出品されました。

## 第2学年校外学習 都内巡り 11/2

2年生の校外学習「都内巡り」では各班で見学のテーマを決め、1日班行動に出かけました。事前学習を経てコースを決め、地図と時計を見ながら各班東京の名所をたくさん見学してきました。ものごとをどう考えて判断して行動するか、多くの学びがありました。



### 【保護者の皆さま】

杉並区教育委員会より11月10日にすぐメールにて教育調査アンケートを配布しました。この調査の結果は教育の水準維持・向上を目的として取り組む様々な施策の参考資料として活用されます。1月10日までご回答をお願いします。